

2011年度

科目名	考古学概説A		
担当教員	犬木 努		
配当	文財2	コード	44038
開期	前期	講時	木曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	考古学の基礎を学ぶ(その1)		
目的と概要	本講義では考古学の基本に立ち返り、その基本的な方法論について、具体例を交えながらわかりやすく解説する。また、各時代の様相について、具体的事例を交えながら検討する。本来、考古学とは遺跡や遺物(遺跡から掘り出された「物＝モノ」)から、過去の人間の営み(「事＝コト」)を復元する学問である。過去の人々が残してくれたモノは、往々にして寡黙であるが、こちらが上手に語りかけてやると、実に様々なことを雄弁に語ってくれる。本講義では、遺跡や遺物から過去の歴史へとアプローチするための基礎的方法を習得することを目的とする。		
成績評価法	筆記試験(80%)によって行う。平常点も重視する(20%)。このほかにレポートを課す場合もある。		
テキスト	使用しない。毎回プリントを配布する。		
参考書	講義中に適宜指示する。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私語など授業態度の悪い学生は、教室から外に出てもらう場合がある。</li> <li>・授業中に参考図書を指示された場合には、事前にきちんと読みこなしておくこと。</li> </ul>		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 旧石器時代の考古学(1) 世界の旧石器——旧石器時代とはどのような時代か?</li> <li>3. 旧石器時代の考古学(2) 日本の旧石器——日本列島における旧石器文化</li> <li>4. 縄文時代の考古学(1) 縄文時代とはどのような時代か?</li> <li>5. 縄文時代の考古学(2) 縄文土器の世界</li> <li>6. 縄文時代の考古学(3) 縄文人の生活空間(衣食住)</li> <li>7. 縄文時代の考古学(4) 縄文人の生存戦略(環境、生活暦、交易)</li> <li>8. 縄文時代の考古学(5) 縄文人の精神世界(埋葬、習俗)</li> <li>9. 弥生時代の考古学(1) 弥生時代とはどのような時代か?</li> <li>10. 弥生時代の考古学(2) 弥生土器の世界</li> <li>11. 弥生時代の考古学(3) 弥生人の生活空間(衣食住)</li> <li>12. 弥生時代の考古学(4) ムラからクニへ——国際社会への登場</li> <li>13. 弥生時代の考古学(5) 弥生時代の墓制、埋葬——集団墓から個人墓へ</li> <li>14. 弥生時代の考古学(6) 弥生人の精神世界(埋葬、習俗)</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p>※ただし、項目によっては数回にわたって行う。また、この順序で授業を進めない場合もある。  ※授業の進行具合によっては、弥生時代の中ごろで終了する場合もある。</p>			